

講義名	観光・ホスピタリティ産業論/観光産業論			授業形態	
担当教員	金 承珠	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

21世紀最大の成長産業と言われる観光産業は日本の基幹産業の一つでもある。観光消費は、買い物、宿泊、飲食、交通、娯楽など観光関連産業だけでなく幅広い産業に波及しているため、観光産業による経済波及効果も非常に大きい。本講義ではホスピタリティ概念や観光業についての基礎知識の確認および観光産業におけるホスピタリティについてその意味と位置づけ及び課題について理解することが目的である。

到達目標

- (1) 観光・ホスピタリティ産業に関する概念および定義について説明できる。
- (2) 観光産業について理解し、ホスピタリティの位置づけについて説明できる。
- (3) 観光・ホスピタリティ産業におけるビジネスモデルを理解できるようになる。
- (4) 観光・ホスピタリティ産業の課題を特定し、課題解決の方向性を提示することができるようになる。

提出課題

課題レポートは、提出期限を厳守すること。期限を過ぎた場合は、いかなる事由があっても受け付けません。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

講義の約10分前に講義内容の理解を確かめるため講義毎に質問・コメント表作成を行います。（キャンパスクロス）
逐週の講義では前回の講義内容に関する質問等に対してできるだけ回答します。

評価の基準

- ・授業回数の3分の1(5回を含む)以上を欠席すると評価を受ける資格がなくなります。
- ・課題のレポートは、指定した内容でのレポートを提出。
- ・評価については、授業態度(ミニッツ・ペーパー提出等)30%、課題レポート30%、期末テスト40%で総合的に評価する。
- ・毎回の出席確認は、キャンパスクロスを用いて実施します。
- ・「ミニッツ・ペーパー」の提出がない場合、出席は無効とします。

履修にあたっての注意・助言他

- ・教室内での私語および飲食、不要な出入り、携帯電話の使用などは禁止します。
- ・授業開始から20分後の入室は禁止します。

教科書

・資料なし。

参考図書

・なし。

その他

- ・テキストは使用せず、レジュメや資料中心に授業を進めます。
- ・講義の理解に役立つ文献や資料等は随時、授業中に紹介します。

授業計画

- ・1 ガイダンス
事前学習：シラバスを読み、本講義に期待する内容を考えしておく（60分）
事後学習：講義内容、受講ルールを理解する(60分)
- ・2 観光産業とは(概念、意義)
事前学習：講義テーマに関連する不明な用語や事項を自ら調べて、事例の内容を把握しておく。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- ・3 観光行動とホスピタリティ
事前学習：講義テーマに関連する不明な用語や事項を自ら調べて、事例の内容を把握しておく。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- ・4 観光産業とホスピタリティ
事前学習：講義テーマに関連する不明な用語や事項を自ら調べて、事例の内容を把握しておく。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- ・5 ホスピタリティ・マネジメント(S&E、ロイヤルティ)
事前学習：講義テーマに関連する不明な用語や事項を自ら調べて、事例の内容を把握しておく。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- ・6 教育者とホスピタリティ
事前学習：講義テーマに関連する不明な用語や事項を自ら調べて、事例の内容を把握しておく。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- ・7 旅行業とホスピタリティ
事前学習：講義テーマに関連する不明な用語や事項を自ら調べて、事例の内容を把握しておく。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- ・8 航空業とホスピタリティ
事前学習：講義テーマに関連する不明な用語や事項を自ら調べて、事例の内容を把握しておく。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- ・9 クルーズ事業とホスピタリティ
事前学習：講義テーマに関連する不明な用語や事項を自ら調べて、事例の内容を把握しておく。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- ・10 運輸観光とホスピタリティ
事前学習：講義テーマに関連する不明な用語や事項を自ら調べて、事例の内容を把握しておく。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- ・11 ホスピタリティとインバウンド戦略
事前学習：講義テーマに関連する不明な用語や事項を自ら調べて、事例の内容を把握しておく。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- ・12 ホスピタリティと地域経済
事前学習：講義テーマに関連する不明な用語や事項を自ら調べて、事例の内容を把握しておく。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- ・13 現代観光におけるホスピタリティの重要性
事前学習：講義テーマに関連する不明な用語や事項を自ら調べて、事例の内容を把握しておく。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- ・14 観光産業の課題と方向性
事前学習：講義テーマに関連する不明な用語や事項を自ら調べて、事例の内容を把握しておく。（60分）
事後学習：講義の後、講義ノートおよびレジュメを読み返し講義内容を整理し理解する。（60分）
- ・15 まとめ
事前学習：これまでの授業内容を復習する（60分）
事後学習：観光・ホスピタリティ産業論講義の全般について自分の見解をまとめる（60分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

目標（1）と（2）の達成することで観光関連産業について広く学ぶことによって、観光産業全体の構造と概要を概括的に理解することができる。目標（3）（4）を達成することで、観光ビジネスの経営構造の理解と既存ビジネスモデルの限界や今後の可能性を考える枠組みを養うことができる。全ての目標に取り組むことによって、自ら考え挑戦することができ観光産業における即戦力となる人材になる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

オンライン授業は動画配信によって実施します。授業動画のURL、配布資料等、必要な連絡はRyukaポータル「講義連絡」で行います。講義に関する質問に対してはメールやレスポンスでも対応することにします。

実務経験の有無及び活用

備考

シラバスの内容は場合によって変更の可能性があります。